

# 2016 人事院勧告 「配偶者の扶養手当」見直し検討



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

## 配偶者扶養手当 女性就労制限の要因と結論

公務員連絡会は6月21日、人事院総裁に対して「2016人事院勧告に関する要求書」を提出し、人勤期の取り組みが正式にスタートした。道本部は「7・26中央行動」や「7・29全道総決起集会」などに結集し、人事院勧告の課題、取り組みの意思統一をはかってきた。勧告をめぐっては、「月例給、一時金の引上げ」「配偶者の扶養手当見直し」や「超勤の着実な縮減」等が重要課題である。引き続き公務員連絡会に結集し、交渉を強化して要求実現をはかる。

人事院は8月上旬の勧告にむけて、「配偶者に係る扶養手当の見直し」を既に表明している。

この背景には「女性の活躍推進にむけた配偶者手当の在り方に関する検討会(厚労省)」において、配偶者に対する扶養手当の支給が「働けるのに働かない」「女性の就労を制限している要因」と結論付けたことがあげられる。

政府は人事院に対し「国家公務員の配偶者に係る扶養手当の見直し」について要請を行っている。女性の活躍を推進するために、「配偶者に係る扶養手当の廃止・見直し」が必要としているが、北海道の特に町村部では、雇用の確保は非常に厳しい状況にある。また、介護や看護などの問題もあり、仮に配偶者手当を廃止しても就労が増えるとは限らない。

政府は「女性活躍の推進」の名のもとに、単純に労働者を増やして税財源を確保することの意図があらさまに見え、進ませるのであれば、まずは「子育て世代に対する支援と女性が働きやすい制度と環境の整備」が必要である。

自治労は公務員連絡会に結集し、民間の支給実態を踏まえた対応を強く求めていく。



「7・26人勤期中央行動」には全国から3,000人が結集した=7月26日、東京都・日比谷公園



人事院前では、交渉支援行動を行った=7月26日

## 「賃上げの流れ」逆流させない 人事院勧告は8月上旬

公務員連絡会は「人事院職員福祉局長・給与局長交渉」が行われた7月26日、「人勤期中央行動」を開き、全国から約3,000人が結集した。石原議長(全農林)は「職場では定員削減や人件費予算の削減がされる一方で、超勤勤務が慢性化するなど厳しい環境にあるなかで、多くの仲間が責任感と使命感を持って日々の職務を行っている。その努力に報いるために、賃金・労働条件改善を強く求めていく」と決意を述べた。

基調提起では、吉沢事務局長(自治労)が「民間春闘での賃上げの流れを、人勤によって逆流させるわけにはいかない」と強調した。

給与局長との交渉では、「2016人事院勧告」は8月上旬を予定していることが明らかにされたが、具体的な官民較差が示されなかったことから、改めて書記長クラス交渉と配分交渉を実施し、具体的内容を追求していく。



そのままの状態に残っている倒壊した家屋=益城町

### 熊本カンパ集約 1億4000万円 (北海道840万円)

熊本県などを震源とする地震被害への対応として取り組んできた被災者支援「災害特別カンパ」が総額1億4,084万9,321円(北海道8,424,402円)となった。カンパについては、熊本県、熊本市への

## 「熊本地震」への被災者支援

「義援金」自治労熊本・大分県本部、熊本県内の被災した単組への「支援金」、連合本部が取り組む「緊急カンパ」への自治労としての「拠出金」として配分する。

派遣した。活動に参加した澤田さんは「最も被害の大きかった益城町では、倒壊した家屋がそのままの状態に残っていた。復興活動内容は、倒壊家屋の瓦礫を分別する作業だったが、1日ばかりで一棟分の作業しかできず、完全に復興するまでには相当の時間と人手が必要だ。危険すぎてボランティアでは作業できない家屋が多くあり、復興支援の難しさを痛感した。一日でも早い復興を心から願う」と感想を語った。

## 募集しています！

- 9月9日(金) 必着  
※応募方法などは道本部HP(単組・組合員専用ページ)を参照
- ◆第49回写真コンクール  
【テーマ】 平和への思い  
【賞品】 最優秀賞1点 20,000円分の商品券  
優秀賞5点 5,000円分の商品券  
佳作3点 3,000円分の商品券
  - ◆2016年度機関紙コンクール  
◎一般の部 最優秀賞1点 30,000円分の商品券  
優秀賞2点 20,000円分の商品券  
佳作3点 10,000円分の商品券  
◎自主福祉活動の部 最優秀賞3点 10,000円分の商品券

### JICHIRO スケジュール

8月

- 4日(木) 共済道支部第4回単組代表者会議 (札幌市・自治労会館)  
被爆71周年原水爆禁止世界大会 (~9日 広島・長崎)
- 5日(金) 自治労全道野球大会 (~8日 旭川市・比布町)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:minnade  
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

園座  
学講  
海携  
北連

# 労働組合の必要性を強調



2年目の開催となった「連携講座」。学生らは熱心に聞き入っていた＝7月15日、札幌市・北海学園大学

大出委員長は、自治労労働者の実態や労働組合の役割を詳しく説明した

道本部は2015年から北海学園大学と連携し、学生に地方自治と公共サービスの現状、地方自治体や公共サービスの働くことの意味・意義、労働組合の役割を認識してもらうことを目的に15回にわたる「講座」を実施している。

14回目の講座は7月15日、大出・道本部委員長が「地方自治体と労働組合」と題し講義した。

大出委員長は、「公務員の仕事は、住民の生命と財産、生活を守ることに金泥棒」と攻撃されることもある」と説明したうえで、「公務員のイメージは？」と質問した。学生からは「給料が安定している休日も取りやすい」

「地元で愛着が深ければ深いほど、やりがいがあるのでは」といった意見が出された。

これに対して大出委員長は「公務員は、ある程度安定し「働くうえでの制度」は整っているが、その制度や賃金・労働条件を守っているのが労働組合。有給休暇や夏季休暇、産休・育休など、労働組合が過去に頑張ってきたからこそ、確立されている」と締めくくった。

## 「戦争法」による危険高まる



集会後は、デモ行進し戦争法の廃止を訴えた＝7月19日、札幌市

7月19日、大通公園で「戦争をさせない総がかり行動」が開かれ500人が参加した。

長田・道フォーラム代表は「安保法によって、犠牲者となる危険性があるのが、7月11日に武力衝突があった南スーダンに派遣された自衛隊北方面隊の隊員。私たちは自衛隊員が武力紛争の当事者になることがないよう、引き続き、戦争法の発動阻止にむけ運動を展開する」と強調した。

1966年	「自治労共済」設立総会（4月25日） 「総合共済基本型」制度発足
1973年	「自動車共済」「火災共済」制度発足
1976年	事故査定を県支部へ移行
1979年	基本型加入者、100万人突破
1980年	「団体生命共済」制度発足 自治労事業本部創立
1984年	「長期共済」制度発足
1998年	「愛車見舞金共済」制度発足
2000年	「自然災害共済」制度発足
2001年	新自治労共済発足（事業本部と統合）
2004年	労組事業を全労済に契約移転
2011年	全労済自治労共済本部誕生
2012年	各事業を全労済へ事業移譲
2014年	「臨時・非常勤等職員むけシンプルパック」制度発足

自治労共済50年のあゆみ(抜粋)

## 自治労共済創立から50年

7月26日、東京都内で「自治労共済生協創立50周年記念レセプション」が開かれた。レセプションでは、50年の歩みを描いたDVDが上映され、各産別・団体の方々が祝辞を述べた。

川本中央執行委員長は「自治労共済は、相互扶助の精神で発足し、組合員・家族の命と暮らしを守るため、自治労にとつてかけがえのない価値を提供し続けてきたことには誰も否定する余地はない。全労済と統合を果たしたが、自治労との関係は何ら変わらない。今後、自主福祉活動をさらに前進させるために最大限努力し、組合員の生活を守り、組織強化へとつなげる」とあいさつした。

## ささきさんの国会だより⑪ 地方の思いは同じ



参院選をうけて、徳永さん、鉢呂さんが訴えた改憲勢力が「2/3」に達したことは脅威であり、多くの仲間が落選したことは残念だが、公示前62人中45人が改選を迎えた選挙で、全国的な結果は改憲派が非改選を含め「2/3」を獲得したが、北海道は自民113万、民進105万と薄氷を踏むような勝利だが、東北・上信越の結果を見れば「地方の思いは同じ」

（7月21日、東京にて）

## 青年の学習機会を増やす



職場だより

【石狩地方本部発】  
恵庭市職労青年女性部は6月21日、石狩地方本部・上山書記長（恵庭市職労出身）を講師に学習会を開き、青年層の組合員35人が参加した。

上山書記長からは、自治労はどんな組織で、どのような運動をしているのか、自治労に結集する意義と重要性について説明があった。また、政治闘争の重要性について、「私たちの賃金・労働条件や仕事をどうするかの法律や制度など、すべてが政治の場で決められている。それを改善するには、政治を変えなければならぬ」として、自治労組織内「えさきたか橋爪雄太」



35人の青年層が参加し、自治労に結集する意義と重要性を学んだ

## 「青山環(たまき)ちゃん」を救う 救済支援カンパ実施中!



【目標金額】  
3億2000万円  
【取り組み期間】  
2016年8月末まで  
【「青山環ちゃん」を救う会 ホームページ】  
<http://tamakichan.net/>

日高町職元執行委員長である佐々木光由さんのお孫さん「青山環(あおやまたまき)ちゃん(2歳)」は、心臓の機能が低下する進行性の難病である「拡張型心筋症」という重い心臓病を患っており、現在、小児用補助人工心臓により生命を維持していることから、一刻も早く渡米して心臓移植手術を受けることが必要の状態です。しかし、米国で心臓移植手術を受けるには、3億2千万円の費用が必要なことから、両親の友人を中心に「たまきちゃんを救う会」が今年2月に結成され、全国6地域での募金活動が展開されています。道本部は、日高町職からの要請を受け、「たまきちゃんを救う会」の趣旨に賛同し、支援カンパの取り組みを実施しています。

## 忙中余話

今年も夏がやってきまして、夏と言えば、ビアガーデンや花火大会、キャンプなど楽しいイベントが盛りだくさんですね。今夏の計画はお決まりですか？

フランスなどの一部の国では「労働者の健康のために、仕事から解放された連続した休暇が必須」との考えから、長期休暇の取得が法律で義務付けられていて、1ヵ月間仕事を休んでのんびりとパカンスを過ごす、というところも少なくないです。

（海老名美加）